

みずほCustomer Desk Report 2023/06/06号 (As of 2023/06/05)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	140.17
TKY 9:00AM	140.20	1.0697	150.00	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	140.45	1.0722	150.18	1.2429	0.6598
SYD-NY Low	139.25	1.0675	149.24	1.2445	0.6637
NY 5:00 PM	139.58	1.0710	149.45	1.2370	0.6580
	1.2435	0.6617			
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	33,562.86	▲ 199.90	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	13,229.43	▲ 11.34	日本10年債	0.4300%	0.0200%
S&P	4,273.79	▲ 8.58	米国2年債	4.4691%	▲0.0414%
日経平均	32,217.43	693.21	米国5年債	3.8237%	▲0.0261%
TOPIX	2,219.79	37.09	米国10年債	3.6879%	▲0.0095%
ソコ日経先物	32,100.00	130.00	独10年債	2.3730%	0.0685%
ロンドンFT	7,599.99	▲ 7.29	英10年債	4.1990%	0.0420%
DAX	15,963.89	▲ 87.34	豪10年債	3.7460%	0.0990%
ハンセン指数	19,108.50	158.56	USDJPY 1M Vol	9.74%	0.30%
上海総合	3,232.44	2.37	USDJPY 3M Vol	9.73%	▲0.11%
NY金	1,974.30	4.70	USDJPY 6M Vol	9.98%	▲0.06%
WTI	72.15	0.41	USDJPY 1M 25RR	▲1.28%	Yen Call Over
CRB指数	260.44	0.76	EURJPY 3M Vol	9.16%	▲0.06%
ドルインデックス	104.00	▲ 0.01	EURJPY 6M Vol	9.67%	0.01%

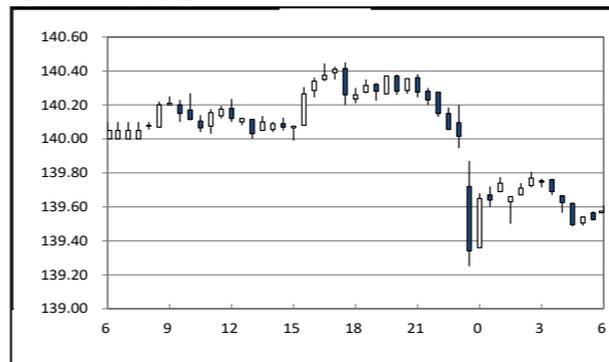
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月5日	10:45	中 Caixin中国PMIコンポジット	5月 55.6	-
	10:45	中 Caixin中国PMIサービス業	5月 57.1	55.2
	17:00	欧 HCOBユーロ圏コンポジットPMI・確報	5月 52.8	53.3
	17:00	欧 HCOBユーロ圏サービス業PMI・確報	5月 55.1	55.9
	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	4月 -3.2%/1.0%	-3.1%/1.7%
	22:45	米 サービス業PMI・確報	5月 54.9	55.1
	22:45	米 コンポジットPMI・確報	5月 54.3	54.5
	23:00	米 製造業受注(前月比)	4月 0.4%	0.8%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	4月 -0.2%	0.2%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	4月 1.1%	1.1%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	4月 -0.3%	-0.2%
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	5月 50.3	52.4

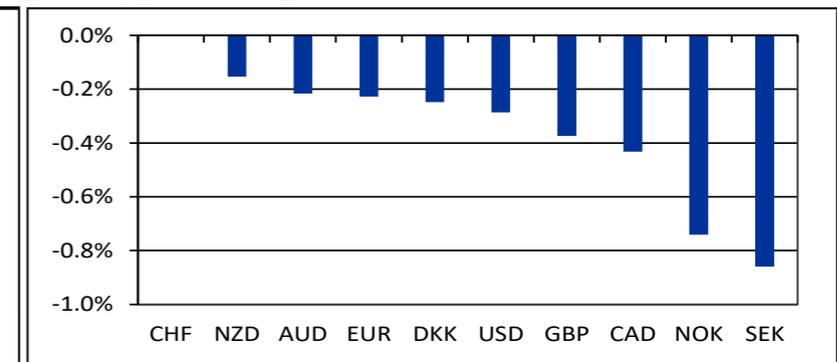
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月6日	13:30	豪 RBAキャッシュレート	6-Jun 3.85%	3.85%
	15:00	独 製造業受注(前月比)	4月 2.8%	-10.7%
	18:00	欧 小売売上高(前月比)	4月 0.2%	-1.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	138.70-140.30	1.0650-1.0800	148.50-150.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は高値更新後に下落。東京時間は世界的な株高、OPEC+減産合意等を材料にドル円は堅調地合いを維持。米金利上昇や日銀の緩和政策維持する姿勢もサポート材料となった。しかしながら、欧州時間に140.45の高値をつけたあとは上値重く、米5月サービス業PMI54.9(予想55.1)、ISM非製造業指数50.3(市場予想52.4)が予想を下回る結果となると、米金利が短期ゾーン主導で下落。一転ドル安となると、ドル円は一時139.25まで急落した。ドル円は来週の米CPI、FOMCまで材料に乏しく、本日はレンジ相場が継続か。現状、次回FOMCでの米利上げ織込みは25%、7月までで75%程度の織込みとなっている。あと一回利上げでターミナル金利に到達するとすると、日米金利差に着目したドル円上昇は限定的か。ただ、足元、円を買う材料がないため、需給面を踏まえドル円の下値はサポートされる見込み。特段ネガティブ材料が出てこなければ、来週のFOMCまではボラティリティの低下がキャリートレードをサポートする流れが継続するか。

東京	東京市場は140.20レベルでオープン。仲値にかけてドル売り優勢となるも、上げ幅を拡大させる日本株を横目に140円付近では下げ渋る展開。新規材料に乏しい中、一日中、狭いレンジでの推移が継続し140.27レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、140.27レベルでオープン。特段の材料がない中、米金利上昇を背景に底堅く推移し、一時140.45まで上昇するも結局140.28レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は139円台後半でスタート。アジア時間では、日経平均株価が約33年ぶりに3万2000円台を付け、先月付けた年初来高値を更新する中、リスク志向の円売りから140円台半ばまで上昇。その後も高値圏での動きが続き、140.28レベルでNYオープン。午前中に発表された米5月S&Pグローバルサービス業PMI、コンポジットPMI(確報値)が下方修正されたことや、その後発表された米5月ISM非製造業景況指数も予想より悪化し、又雇用項目が分岐点の50を割り込んだ内容から、米労働市場の減速が意識される結果となり、ドル売りが優勢となり、139.25まで下落する。売り一巡後、139円台半ばまで値を戻す。午後は米金利の上値重い展開を横目に、139.70付近を挟んだ狭い推移が続き、139.58レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。ユーロ圏5月HCOBサービス業PMIとコンポジットPMIの結果が共に下方修正され、その後発表されたユーロ圏4月PPIも予想を下回った結果を受け、ユーロ売りが先行し、1.0690レベルでNYオープン。朝方は冴えない米経済指標の内容を受け、1.07台を回復し、1.0722まで値を戻す。午後は1.07台前半での底堅い推移が続き、1.0710レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・松木